

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人KOGUMA こくまの森明石		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日 ～ 2024年10月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	2024年10月1日 ～ 2024年10月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達に対する愛情 毎月の会議で子ども達の成長や変化について話をする場面が多くあります。そのたびに職員達から子ども達への思いをたくさん感じています。様々な事情で職員が怪我をすることも多々あります。当然のことかもしれませんが、それでも子ども達のことを一番に考え、いつも明るく前向きに支援に取り組んでいる姿勢が見られます。	・職員がいつも明るく笑顔でいること 支援に無関係と思われるかもしれませんが、職員間の風通しの良さ、いつでも相談し合える環境、関わる大人達が笑顔でいることは子ども達の安心感、そして支援においてとても重要なことだと捉えています。毎月の振り返りレポートでは子どもへの関わりや支援方法など細かな部分まで職員間で吸収し合っている様子が十分にうかがえます。研修でコミュニケーションについての講義など取り入れています。結果それぞれが意識しながらお互いを高め合い、どんな時も子どもの気持ちに寄り添いながら支援を行い、その姿に子ども達も安心して支援に取り組めるのだと強く感じています。	日頃から子ども達の情報共有は行っていますが、今後も職員でしっかりと子ども達の様子について、子ども達それぞれの支援のあり方について、子どもはもちろん保護者の方々の気持ちにも寄り添いながら職員間で話し合う機会をより増やしていきます。そして職員がいつも明るく元気に子ども達と関われるよう働きやすい環境作りをより意識してまいります。
2	・専門性の高い職員の在籍 音楽療法士2名、作業療法士など専門的な職員が多く在籍しています。幅広い視野で子ども達ひとりひとりの支援を行っています。その他職員も有資格者、障がい分野での歴が長い経験者となっています。	専門的な目線からのアドバイスや意見、取り組みを共有しています。個別の時間もありますが、集団での活動の際にはその他職員も共に参加しながらサポートしています。その他職員については定期的な外部研修や法人の研修(SST研修など)に積極的に参加し、現場での支援に活かしています。	外部研修や法人内の研修の機会を増やし、職員ひとりひとりのスキルアップを目指します。研修だけでなく、日頃の支援の成功例など今後も随時共有するよう努めます。
3	・見て、触れて、体験する 日々の支援だけでなく様々な行事、イベントを行っております。季節のイベント(クリスマス会、節分、ハロウィンでの地域の方々との関わり、お芋掘りなど)、運動会、遠足(動物園、水族館など)、クッキング、外国人講師による英会話、ピアノかなど	行事やイベントの中から実際に体験する機会、社会性の構築、そして体験を通して自信や可能性に繋がることが期待されます。障がいの特性によっては保護者の方が余暇の過ごし方に悩まれることもあり、外出先も制限せざるを得ないこともあります。こくまの森で様々な場所に行き、幅広い経験を培うことを意識して取り組んでいます。	現在、保護者の方に観覧いただくのは運動会のみとなっておりますがその他にもご参加いただけるようなイベントや普段の様子を観覧いただけるような機会を検討しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会の開催不足 以前開催した際、参加いただいた方より再開催のお声をたくさんいただいておりましたが、今年度こくまの森での保護者会は開催できなかったため、アンケートにて開催のお声をたくさんいただいておられます。今年度は外部での支援学校の先生によるお話会と保護者会がありましたが明石事業所からは参加者なしの結果となりました。	平日昼間の開催だったので仕事の調整が難しかった、外部よりもこくまの森内での保護者会のほうが安心して参加できるといったお声をいただきました。	・定期的な保護者会を開催します。 ・平日の昼間の時間帯は予定のある方が多くいらっしゃるの、以前のように日祝などに開催を予定いたします。 ・保護者の方々がご参加いただけますようお願い、保護者会中の託児を検討いたします。
2	・支援に入っていないドライバーの送迎 現場で子ども達の支援に入っている職員のドライバーも複数ありますが、夕方については運転可能な職員に限られているため送迎の時間帯のみ勤務のドライバーも在籍しています。そのため、その日の様子を詳しくご説明できないことがあります。	子ども達の情報共有はしていますが、一日の様子は連絡ノートにてお伝えしているため送迎専門のドライバーはその日1日の様子を全て把握できておらず、保護者の方々に対して説明不足になってしまうことがあるかもしれません。	送迎のみであっても保護者の方からドライバーについての信頼のお声もいただいているので(こくまの森独自アンケート結果より)今後も子ども達としっかりとコミュニケーションを取り保護者の方々に安心していただけるよう努めます。なにかご不明点やご質問があった際には、現場の職員に確認をとり、迅速に対応いたします。子育て中の職員は夕方の送迎が難しいため、送迎専門のドライバーが在籍していることへのご理解をいただけるよう努めてまいります。
3	・活動スペースの十分な広さ 日頃の活動に支障はありませんが、多機能型で幼児と小学生以上が同じ室内で過ごすため、長期休暇中などは午前中から全員が揃っていることもあり、小学生以上が場所に余裕をもって活動すること(運動)が難しいことがある。		開所以来、何度も室内の工事を行っていますが、現状が今までで一番広くスペースを確保できており子ども達が安全に活動ができる状態です。子ども達が安全に心地よく過ごせるよう、今後も長期休暇中は戸外で十分に身体を動かす時間を多くするなどし、様々な工夫を取り入れながら過ごしてまいります。